

SDGsの取り組み

ISHIYAの約束

ダイバーシティ

LCAの取り組み

ISHIYA

CSR

COMMUNICATION

BOOK

\*

ISHIYA

〈発行〉

石屋製菓株式会社

社長室

広報CSR推進チーム

〒063-0052

札幌市西区宮の沢2条2丁目

11番36号

TEL.011-666-1483

FAX.011-666-5566

2023

CSRコミュニケーションブック

石屋製菓株式会社 石屋商事株式会社

おかしな仕事をしよう。

## CONTENTS

企業理念	03
TOP MESSAGE	04
トップ×社員の虹色対談	05
ISHIYAの約束	
ISHIYAの約束 1 安心・安全	07
ISHIYAの約束 2 コンプライアンス	09
ISHIYAの約束 3 環境	11
ISHIYAの約束 4 スポーツ振興	13
ISHIYAの約束 5 地域社会	15
ISHIYAの約束 6 雇用・労働環境	17
ダイバーシティ	19
SDGs推進チームの社内探訪	21
LCAの取り組み	23
ISHIYAヒストリー	25
数字で見るISHIYA	27
SDGs取組表	29

## 編集方針

「ISHIYA CSRコミュニケーションブック」は、  
企業理念「しあわせをつくるお菓子」のもと「100年先も、北海道に愛される会社へ」を目指して、  
持続可能な社会を形成するためにすべてのステークホルダーの皆さまへ  
ISHIYAの取り組みを理解していただくことを目指しています。

- 報告対象期間／原則2022年1月から2022年12月とし、一部対象期間外の活動も含まれます。
- 報告対象組織／石屋製菓株式会社、石屋商事株式会社
- 参考資料／社会的責任に関する手引「ISO26000」

環境省発行「持続可能な開発目標 (SDGs) 活用ガイド」

※2022年12月31日現在の部署・役職名で記載しています。



このレポートは、表紙を除く全てのページに、  
古紙パルプ配合率80%再生紙と、環境に  
優しい植物油インキを使用しています。

企業理念

## しあわせをつくるお菓子

お客さまの  
しあわせ

地域の  
しあわせ

社員の  
しあわせ

長期ビジョン

### 100年先も、北海道に愛される会社へ

ビジョンを実現するため、私たちは6つの約束を果たします。

### 6つの約束

1

安心・安全

2

コンプライアンス

3

環境

4

スポーツ振興

5

地域社会

6

雇用・労働環境

これらのアクションが、

SDGs(持続可能な開発目標)の達成につながっています。



# TOP MESSAGE

いつものひととき、  
そこにあるお菓子になりたい  
Stand By Hokkaido

2020年に始まったコロナ禍は、当社に大きな打撃を与えました。しかし、お土産菓子市場はインバウンド需要を含め、そう遠くないうちに再び賑わいを取り戻すことでしょう。そのとき私たちは「コロナ前に戻る」のではなく、「コロナ前より良い会社になろう」を合言葉に様々な準備をしてきました。その成果が少しずつですが、形になってきたと感じています。

2022年はおかげさまで「白い恋人」の発売46周年を迎え、白と46(シロ)をかけて「白い恋人」約1年分プレゼントなどのキャンペーンを実施し、多くのお客さまに喜んでいただくことができました。

そして、次の50周年に向けて何をしていくかを考えたとき、私たちのお菓子を北海道の皆さんに選んでほしい、北海道に寄り添う会社でありたい、という気持ちがこれまで以上に強くなり、「Stand By Hokkaido」という新しいスローガンが自然に浮かんできました。

2022年6月にオープンした「22%MARKET」は、まさにこのスローガンを実現する拠点となっています。2023年はさらに北海道内の直営店を増やし、お客さまとの接点をより大きく広げていく予定です。

また、2022年はグループ企業のサザエ食品株式会社、十勝製菓株式会社との連携を強化し、暮らしのなかで愛されてきた伝統を大切にしながら、新しい風を吹き込む人材交流などを進めています。2022年11月には当社初の和スイーツを提供する「いしや茶寮」も開店しました。

これまでは入館者の多くを観光のお客さまが占めていた「白い恋人パーク」では、観光で来られた方はもちろん、北海道在住の方にも楽しんでいただける施設を目指して様々な新企画を展開しています。

ほかにも社内のいたるところで変革が起こっています。この変革を止めないために、私たちはISHIYAを「日本一失敗できる会社」にしたいと思っています。やりたいことに安心して挑戦できる組織風土を築きたい。そこには当然しっかりした基準と、一人ひとりの責任と自覚が不可欠であると考えています。立ち向かう課題は多くありますが、「100年先も、北海道に愛される会社へ」というビジョンのもと、一つ一つ前向きに取り組んでまいります。

石屋製菓株式会社・石屋商事株式会社

代表取締役社長 石水 創



# トップ × 社員の虹色対談

石水:今日は様々な部門で活躍している皆さんが、どんなふうに能力を生かして働いているか、これからの課題も含めてディスカッションできればと思います。

磯田:私は、2022年度上期までは催事・物産展チームのリーダーでした。これまでISHIYAの催事展では新商品が少なかったのですが、お客さまにもっと楽しんでいただきたいと考え、チーム全員で意見を出し合って「白い恋人シェイク」をはじめとした物産展での新商品を多数展開しました。

チームには新卒も中途入社も、若手もベテランもいて、男女・年齢差・役職関係なく全員が発言しやすい雰囲気作りに努めており、それが新しい発想につながりました。小さなことでもイノベーションに必要なのは自由な発想で、それを引き出せる環境が大切だと実感しました。

石水:いろいろな考え方があることは、イノベーションの原動力になりますよね。外国人として早い時期に入社してくれた周さんから見ると、ISHIYAはどんな会社ですか。

周:私が入社した8年前、外国人従業員は私を含めて2人で、現在の11人と比べると本当に少数でした。周りの人たちの恩恵を受けながら、お客さまに喜んでいただくという共通目標のために働くことができ、すごく幸せに思っています。コロナ禍で中国の知人の中には仕事が無くなって帰国した人もいました。私はちょうど1年前に産休・育休を取得しました。復帰してからもコロナ禍が続いていましたが、「こういうときこそ一緒にがんばろう」とみんなの気持ちが一層強くなったと思います。業績が厳しいときにも、会社が社員一人ずつを見てくれていると感じて、とてもうれしかったです。

石水:そう言ってもらえると僕もうれしいです。あの苦しいときに「100年先も、北海道に愛される会社へ」といっ

ジョンができました。100年という長いスパンで考えると、こうした疫病はいつ起きてもおかしくない出来事で、ここ1、2年は確かに厳しい状況でしたが長い目で見ると「ちょっとしたケガ」のようなものと考えられます。会社にとって何が一番大切なかを考える貴重な機会にもなりました。浦島さんは当社初のベイクショップの店長ですが、現場で大切にしていることは何ですか。

浦島:お客さまの声を直接聞くことを大切にしています。それから、スタッフは若い年代が多いのですが、年齢や



虹色ケーキの製作者  
宮の沢工場開発チーム 係長  
小泉 彰

2003年にシティホテルのパティシエとして仕事を始める。2018年にISHIYAに入社し「ゆきどけ」や「ストロベリーパンケーキ」、「シバレーブレ」、「テリヌド・ショコラ」など数多くのヒット商品の開発に携わっている。

性別は関係なく、個々を見るようにしています。私自身はISHIYAに入る前に東京のベーカリーで働いていて、女性であることでいろいろな可能性をつぶされた経験があるので、そういうことは絶対にしたくないと思っています。

石水:その人の個性が発揮できれば、仕事の質も上がりますよね。工藤さんは2022年からシニアエキスパートとして働いていますが、新しいポジションはいかがですか。

工藤:私も中途採用で入社して27年になりますが、自分の好きな機械整備の分野でこれまで以上に楽しく働いています。シニアエキスパートという役職は自分で選んだものですが、実は最初は少し不安でした。私は必要とされる存在だろうか、と考えてしまって。でもそれは全くの杞憂で、サザエ食品や十勝製館の人たちも機械について相談に来てくれるなど、周囲の方が私の知識をしっかりと受け止めてくれています。

また、新しい勉強も進めています。例えばコロナ禍で機械整備予算を削減せざるを得なくなったのですが、これまでメーカーに頼っていた整備をできるだけ自分たちでやってみようと勉強し、最初は約2割を自前でするようになり、現在は約5割までカバーできるようになりました。



営業部広域営業チーム  
主任  
磯田 修次



パーク事業部飲食チーム  
「チョコレートラウンジ・オックスフォード」  
周 丹

代表取締役社長  
石水 創

販売部飲食チーム  
22%MARKET「Over the moon」店長  
浦島 千晃

## ISHIYA DIVERSITY & INCLUSION TALK

一人ひとりが

自分らしい色で輝くことが

100年先にもつながっています

石水:コロナ禍で特に成長した部署の一つが、工藤さんたちの機械ENG(エンジニア)チームだと思います。ここまで皆さん良い点ばかりを話してくれましたが、今後の課題は何でしょうか。

磯田:仕事に対する評価の仕組みづくりが必要です。ISHIYAの社員はみんな実行力があり、粘り強くやり遂げる人が多いのが強みですが、その反面、さらに客観的で建設的・革新的な改善案を生み出すための評価をする時間をもっと取ることが重要だと感じています。

周:課題というと難しいですが、一人ひとりが自分の仕事に責任を持って、役割を果たしていくことでしょうか。



北広島工場機械ENGチーム  
シニアエキスパート  
工藤 節也



工藤:工場では必要な部署に必要な人員が決まっていて、一人が欠けるとラインが動かせなくなるので、そういった問題を解決できればと思います。

浦島:社内のハード面はかなり充実しているので、ソフト面の充実が課題の一つだと思います。例えば、今回のテーマであるインクルージョンについて、聞いたことはあるけど意味は分からないという人は多いと思います。そういった知識を得られる研修などが必要かなと感じました。

石水:貴重な意見をありがとうございます。まさに必要なことばかりだと思います。それぞれが経営者の意識を持ってフラットな組織であることが、より良いISHIYAらしさにつながると思っています。これからもそのために進化し続けたいと思いますので、皆さんよろしくお願いします。





# 1 Promise.

ISHIYAの約束1

## 安心・安全

北広島工場  
工場長  
あかやま ひろあき  
赤山 弘明

1985年入社。  
札幌市東区にあった旧本社工場にて「白い恋人」の製造にたずさわる。当初はチョコレートの原液製造を担当し、毎日25kgの粉乳の袋を持ち上げて機械へ投入、お菓子づくりの基礎を身をもって修得。その後、旧手稲工場、宮の沢工場で多くの商品製造にたずさわわり、2007年の衛生・品質管理問題発生後はHACCP認証取得にも参画。2021年から北広島勤務、2022年5月より現職。今後の工場の目標は、会社の柱となる次の新商品を生み出すこと。



大切にしているのは  
お互いのコミュニケーションと  
自社の製品を愛する気持ち

### いつも明るく 風通し良い雰囲気

北広島、宮の沢の両工場は国際的な食品安全マネジメントシステムFSSC 22000の認証を取得、運用しており、品質管理の体制はほぼ確立している状況にあります。もちろん、さらなる改善に向けた努力は続けています。そのうえで、工場で働く大勢のスタッフのチームワークを保つために大切にしていることは、「明るい雰囲気づくり」です。当たり前にも思われるかもしれませんが、毎日元気に挨拶し、お互いに声をかけあい、心配ごとがあれば何でも話せる環

境をつくる。安心・安全な製品づくりにおいて、信頼関係とコミュニケーションに勝る武器はありません。工場内の各チームのマネージャーとも常に考えを共有し、環境を整えてきました。北広島工場の工場長は私で3代目ですが、これまでもずっとそうしてきましたから、その風土はしっかり根付いていると思います。

### たいへんときこそ 細やかな意思疎通を

コロナ禍で当社の売上は一時大きく落ち込みました。社内の異動も多く行わ

れ、例えば接客・販売業務に就いていた社員が工場勤務になる場合もありました。異動してきた社員にとって、急に新しい業務を覚えるのはたいへんで、ましてや希望してきた部署ではありません。そうしたときも私たちはコミュニケーションを第一に、働きやすい環境をつくることに力を入れました。面談の機会なども意識的に増やし、最初は戸惑いがあった社員も少しずつ馴染んでくれたようです。その後、前の職場に戻る社員が増えましたが、気軽にコミュニケーションを取る関係ができたことは、これからも部門を越えて大きな財産になると思います。

### TOPICS 現場からの改善提案

工場で働くスタッフが業務に関して改善点に気づいた場合、どんな小さなことでも提案し、共有する仕組みをつくっています。すぐ実現できる内容は、チームのマネージャーの権限で素早く実施。業務の効率アップ、経費削減、品質管理向上、チームワーク強化など、様々な効果が上がっています。

改善提案は、2か月に1度、社長を含めた代表者会議でまとめてプレゼンを実施して内容を評価。その後、両工場の共有スペースに提案者の顔写真入りで貼り出し、共有することで、スタッフのモチベーションの向上にもつながっています。2か月で両工場から出される提案は平均約60件に達します。



北広島工場  
白い恋人製造チーム  
サンド室 主任  
えんどう れお  
遠藤 玲央

2013年入社。宮の沢工場ピロー包装室勤務を経て2017年から北広島工場勤務。約3年前に主任に昇格、若い部下の見本になれるようにとチームを引っ張る。昔からサッカーひと筋、北海道コンサドーレ札幌の大ファン。



北広島工場  
チョコレート製造チョコシートチーム  
シート室 主任  
あつみ けいた  
厚海 啓太

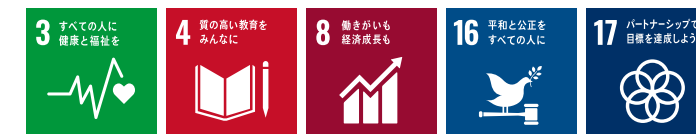
2006年入社。宮の沢工場バウム室勤務に始まり、「美冬」「白い恋人」の製造に従事。北広島工場建設の際にはメーカー等と協議して機械システムを構築。学生時代から野球が好きで、今も日曜の朝野球が楽しみ。



# 2 Promise.

## ISHIYAの約束2 コンプライアンス

[SDGsへの貢献]



安全な商品を作る  
品質管理の視点を  
みんなが持てるように



品質管理部  
シニアエキスパート  
沼田 司

森永製菓(株)で長年にわたって研究・商品開発、品質管理、品質保証の業務にたずさわり、2007年以降、ISHIYAが森永製菓(株)等から技術支援を受けた際には宮の沢工場での教育や点検業務なども行う。専門的な知識と経験を生かし、2019年、ISHIYAに入社し品質管理部に勤務。「かつての石屋製菓と比べると品質管理の体制が大きく改善し、会社全体の意識も向上した」と感じる。今後は各部門がより自律して品質管理に取り組めるよう、さらなる飛躍を目指す。

### リスクを想定し 未然防止に努める

品質管理部の仕事はコンプライアンスの根幹をなす業務の一つで、安全な商品とサービスをお届けするため、原料選定から製造、物流などの様々な場面で状況を確認し、食品衛生法や食品表示法といった法律遵守はもちろん、さらに品質向上に努めています。

万が一問題が発生した場合は迅速に対処しますが、私たちが主に取り組んでいるのは、問題を未然に防ぐ仕組みづくりです。例えば、2022年6月にオープンした「22%MARKET」は当社初のベイク

ショップですが、パンづくりは特に酵母を扱うため、余計な菌が入り込まない衛生的なエリア設計をはじめ、原料選定、作業工程、販売方法などについて、現場スタッフとともに品質管理部スタッフが一緒に検討を重ねて準備を進めました。

品質管理部は「できたものを点検しダメなところを指摘する」というイメージが強いかもしれませんが、それはほんの一部で、専門知識を生かしながら各部門と連携してISHIYAの新しいステージを生み出しています。

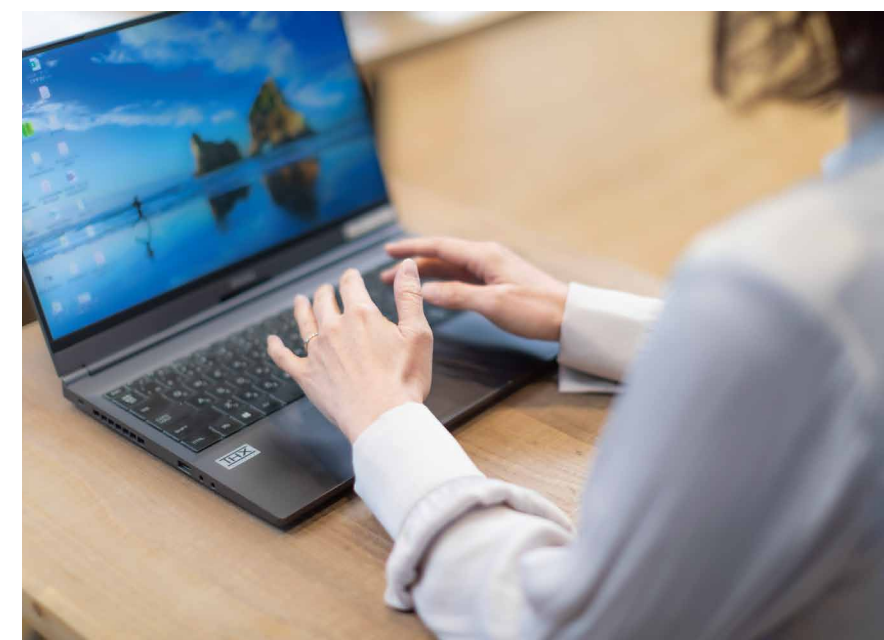
### すべての業務は 品質管理につながっている

問題を未然に防止するには、各部門が常に起こりうるリスクは何かを考え、「品質管理的な視点」をもつことが非常に重要です。この視点は特別なものではなく、私たちが作る商品を自分の子どもにも食べさせたいか、産まれたばかりの赤ちゃんにも安心してあげられるか、そういった気持ちで業務を考え直すと分かりやすいと思います。また、そのときに品質管理に役立つ専門知識があると効果的なので、例えば販売スタッフに食品アレルギー表示の研修を行うなど、これからも社内教育に力を入れていきたいと思っています。

### TOPICS 育休取得促進、産後パパ育休制度への対応

ISHIYAは子育て世代の若い従業員が多いこともあり、育休取得促進の取り組みを進め、女性従業員の取得はほぼ100%達成、男性従業員はまだ少数ですが、2019年度1名、2021年度2名、2022年度4名が取得し、少しずつ増えている状況です。

また、2022年10月に始まった男性向け育休制度「産後パパ育休」に対応し、いち早く社内の勤怠管理システムを変更。子どもが産まれた男性従業員に「育休取る？取らない？」と聞くのではなく、「育休いつにする？」と声かけできる会社を目指します。







どんなときも  
できることを見つけ  
少しずつでも実行していく

パーク事業部  
ゼネラルマネージャー  
よこざき ひろみ  
横関 宏美

1992年の入社以来ずっと総務部に勤務し、2019年にパーク事業部へ異動。2022年にゼネラルマネージャーに就任。スタッフとともに「100年先も、北海道に愛される白い恋人パーク」を目指す。パークで剪定した枝葉を円山動物園へ運ぶ際、自らトラックを運転するなど、何事も率先して動くタイプだが、総務部で緑の下力持ち的な業務が長かったからか、本人曰く「接客はやや苦手」。

### 剪定した枝葉を 動物園で有効活用

白い恋人パークには多くの樹木があり、定期的な剪定が必要です。そのとき出る大量の枝葉を今までは廃棄していましたが、2021年からは札幌市円山動物園にエサとして寄付する活動を始めました。現在、ニセアカシアの葉はキリンのエサ、シラカバの枝葉はゾウのエサになっています。今後はさらに樹種を増やすなど、よりよい方法を確立したいと思っています。また、円山動物園ではゾウのフンを発酵させ堆肥化していますが、そうした取り組みを多くの方にお知ら

せできたらと考え、堆肥を分けていただいて小さな袋に詰め、当社のイベントでお客さまにプレゼントしました。今後はこの堆肥をパークに植栽しているバラにも試してみる予定です。パークで剪定した枝葉をゾウが食べ、そのゾウのフンが堆肥になり、その堆肥でパークの草木が元気に育つ。そんな循環ができたらうれしいですね。

### 自分たちが考え、動き出すことで 可能性が見えてくる

コロナ禍で、白い恋人パークは一時期観光のお客さまがほとんど来なくなり、私た

ちは経験したことのない状況に直面しました。そのなかで今できることは何か、地域のためにできることはないか、スタッフ一人ひとりが考えて出した意見の一つが、「パークと同じ札幌の西側にある円山動物園と連携して何かしたい」というものでした。最初は漠然としたイメージでしたが、情報を集めるうちに剪定した枝葉が活用できることがわかり、今回の環境に関する活動につながりました。まだ小さな取り組みですが、これからも環境や地域への貢献、食育、SDGsなど、私たちにとって重要なキーワードを常に念頭において、新しい可能性を探りたいと思っています。

### TOPICS 白い恋人パーク産の枝葉は、アジアゾウのごちそう

円山動物園では動物たちが生き生きと暮らせるように、エサの種類や与え方を工夫しています。例えばアジアゾウでは乾草や野菜、果物のほかに樹木の枝葉を与え、食べるための時間をできるだけ長く、野生の生活を感じられるようにしています。しかし、新鮮な枝葉を大量に確保するのは容易でなく、「白い恋人パーク産の新鮮な枝葉」は動物たちの体と心の健康維持にたいへん貴重なものとなっています。円山動物園は開園から100年目となる2050年を見据え、経営方針「ビジョン2050」を策定しました。

環境保全の取り組みは大きな柱の一つですが、私たちだけで達成することはできません。市民や地域の企業の協力・支援が不可欠です。地域に夢と元気を与えてくれる白い恋人パークでの循環(枝葉→エサ→フン→パークでの堆肥活用→枝葉)を通じて世界の野生動物の現状を発信し、未来の子どもたちのために地球環境を守る行動に、ともにつなげていきたいと思っています。



札幌市円山動物園  
園長 神賢寿様



# 4 Promise.

ISHIYAの約束4

## スポーツ 振興

このサッカー場から  
たくさん楽しい  
気持ちが生まれ  
それが私たちの  
喜びになる



パーク事業部  
植栽チーム 主任  
うえむら いたる  
上村 至

高校生の頃にJリーグができ、理念に共感。大学時代にコンサドーレ札幌(当時)が誕生、サポーターとなる。サッカーにかかわる仕事がしたいと考え、大学卒業後に造園会社へ就職。J1のサッカー練習場でグラウンドキーパーを担当。

2000年、宮の沢白い恋人サッカー場落成を知り、石水勲名誉会長に採用を打診して即OKとなり2001年4月入社。以来、宮の沢白い恋人サッカー場を守り続ける。

### できるだけ長い時間 芝の上になりたい

宮の沢白い恋人サッカー場では3月から11月まで北海道コンサドーレ札幌のトップチームが練習をしています。そのなかで、私たちの使命は常に高いレベルのグラウンドを提供することです。選手たちはここで練習したことが本番の試合に出ますから、まさに真剣勝負の場。私たちも1日も手を抜くことはできません。

シーズン中は毎日専用車両に乗り、ちぎれた芝などを吸い込みながら芝全体を刈り整えます。特に痛んだ部分があれば、新しい芝を移植するなど一つずつ手

作業で補修が必要です。今日直しても明日練習すればまた荒れますから、日々同じ作業を繰り返し、コンディションを維持しなければなりません。そのためには練習前の朝の時間と、練習後から退勤時間まで、私たちがどれだけ長い間芝の上になれるかが勝負です。

### 名誉会長が夢見た景色を 守り続ける

このサッカー練習場は、一昨年亡くなった石水勲名誉会長の「スポーツを通じて地域を元気に」という気持ちから生まれました。2022年10月には、ここで久

しぶりに練習試合がありました。客席はほぼ満員で皆さん楽しそうに観戦していました。この場所がたくさんの人々の楽しみにつながっていて、自分がその仕事にたずさわっている喜びを改めて感じた瞬間でした。グラウンドの向こうにパークの建物や時計塔が見え、その周りに街並みが広がっていて、名誉会長の頭の中にはこの景色がすでに見えていたと思います。

これからも地域の方々にご喜んでいただき、スポーツを楽しむ環境づくりに協力するなど、いろいろな形で地域貢献ができればと思います。

### TOPICS 株式会社コンサドーレ 三上 大勝代表取締役GMより

近年、クラブやチームから、様々な旅立ちがあり、2022年は苦難のシーズンでした。それでも私たちは、石水勲名誉会長の「あとは頼んだぞ、」という言葉に胸に、歩み続けてきました。そして北海道、札幌市、石屋製菓様、また日々のトレーニングを支えてくださるグラウンドキーパーの皆さんを含めたクラブの力で乗り越えることができました。北海道を豊かに、元気にする。私たちはその一心で前に進んでいます。昨今、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、選手やコーチングスタッフをはじめ、パートナー企業の皆さま

ま、ファン・サポーターの方々、クラブ社員やアルバイトスタッフに至るまで、そのすべてがクラブの力となっていることを強く実感しています。皆さまの力がクラブの力となり、2023年もまた、国内最高峰のリーグで戦えます。これからも、ありがたいクラブ、ありがたい姿を目指して一歩ずつ、皆さんと一緒に上り詰めたと思います。そうすれば、皆さんにとっての、ありがたい北海道・札幌へ、同時に石水勲名誉会長の想像を超える景色に行けるかもしれません。これからも一体感を持って戦い、全員でいい景色を見にいきましょう。

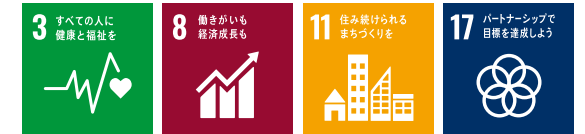


株式会社コンサドーレ  
代表取締役GM  
三上 大勝 様



©2022 CONSADOLE

[SDGsへの貢献]





# 5 Promise.

ISHIYAの約束5

## 地域社会

北海道農業に  
たずさわる人たちの  
「たのしい」をつくり、  
次の150年につなげたい

経営管理部  
関連事業チーム 係長  
鈴木 皓介

輸入食品商社勤務を経て2016年に入社。前職では営業と店舗運営にたずさわり、北海道赴任時代に全道を回るうち「おいしいものが多い、いい人も多い北海道にずっといたい」と思うように。当社入社後は資材課で仕入れ業務を担当し、2022年から経営管理部にて北海道150年ファーム事業を推進。北海道農業を次の150年につなげる取り組みに全力を注ぐ。趣味はバスケットボール。



[SDGsへの貢献]



### 地域の一員として できることを

2018年に「北海道150年ファーム」と名づけた新事業をスタートし、北海道農業のためにISHIYAができることを考え、いろいろな取り組みを進めています。なぜ製菓会社が農業振興?と思われるかもしれませんが、当社の原材料は北海道の農畜産物が多くを占め、今後もしかり続けたいと考えています。また、地域の一員として地域の基幹産業を盛り立て、次の世代に引き継いでいく責任を感じています。多くの人が道産品の良さを再発見したり、これまでなかったアイ

デアや新しい連携が生まれたり、そうした積み重ねが北海道農業の課題解決につながれば、これほどうれしいことはありません。またそのときに、ISHIYAらしく「たのしい」をキーワードに活動したいと考えています。

### これからの北海道農業を支える 高校生とともに

現在までに形になってきたものは、関連会社でのバニラ栽培をはじめ、道産野菜や果物に特化した150年ファームブランドの商品開発があります。そして最も力を入れているのが、主に農業高校と連携

した農業と食のフェスティバルの開催です。全道の高校生に参加していただき、農畜産物や加工品の販売やスイーツコンテストなどを計画、2023年の開催を目指しています。北海道には農業に関連する高校が30校あり、それぞれ特色のある教育を実践されています。そうした学校にお声をかけ、これからの農業を支えていく若者の成長に貢献できるような活動を継続することが目標です。高校生が考案したスイーツを協賛企業と協力して商品化するなど構想は膨らみますが、まずは確実な一歩を踏み出したいと思っています。



### TOPICS.1 観光土産品だけでなく、 地域に根ざした店舗を目指して

22%MARKETのコンセプトは「いつもそばにいるあなたに、しあわせを」。道民の皆さまにも楽しく利用してもらえる店舗があれば、との思いから2022年6月にオープンしました。北海道のいいものを集めたグロッサリーショップ

やバイクショップ、カフェを通じて地域循環・還元マーケットであり続けたいと思います。

マーケティング室  
ゼネラルマネージャー  
池田 明



株式会社らむれす 三角山放送局 代表取締役社長 杉澤 洋輝 様

### TOPICS.2 「いっしょに、ねっ」から始まる 包摂社会の実現に向けて

札幌市西区の三角山放送局は「いっしょに、ねっ」を理念に150名の市民がマイクの前から想いを届けています。障がいのある方々の発信拠点「飛び出せ車イス」のほか、パラスポ

ーツ応援、性的少数者の情報発信など社会的少数者の意見を切り捨てない番組づくりを心がけ、「三角山SDGsトーク」ではISHIYAとの連携番組「ISHIYAプラス」を放送しています。



## 雇用・労働環境

どんなふうに成長し  
どんな舞台で活躍したいか  
自ら選び、実現できる会社に

人事総務部  
ゼネラルマネージャー  
柿村 俊子

1997年入社。ISHIYA・チョコレートファクトリー（現白い恋人パーク）で様々な業務を経験し、2005年に館長就任。いつもスタッフの話聞くことを心がけ、親しみやすさがトレードマークに。2020年に人事部へ異動し、社内教育を担当。2022年の組織改変にあたりGMに立候補、初の女性GMの一人となる。夢はペンシルベニア州ハーシーのように、世界からISHIYAのまちを目指してたくさんの方がやって来ること。



### 職歴・年齢・性別にかかわらず活躍できる会社に

2021年度から社内の大きな組織改変を進めてきました。初の試みとしてゼネラルマネージャー（GM）の立候補者を募り、ビジネスに不可欠な知識について小樽商科大学大学院の特別講義を受講したうえで、様々な角度から評価・決定しました。まだ改善は必要ですが、職歴や年齢、性別などに関わらず、各部門に適した人材が配置できる仕組みになったのではと思います。立候補にあたって課長職以上の社員に「GMを目指しますか？ 専門業務を極めるエキスパートを目

指しますか？」と意志を確認する面談を行いました。私も面談を受けて迷いましたが、自分の人生をふり振り返り原点に立ち返ったことで、この先もISHIYAを良くすることに貢献したいと強く思ったので立候補しました。女性のGMが存在することで、これからの女性社員が挑戦するきっかけにつながればうれしいです。

### だれもがやりがいをを持って元気に仕事ができる職場を目指して

若手社員もベテラン社員も、それぞれが得意な分野、反対に課題を克服したい分野で成長し、活躍できる場をつくることを

私たちの役目です。今後どんな部門や業務で働きたいかアンケートや面談を行い、できるだけ希望をくみ取るようにしています。状況により希望が叶わない場合もありますが、できる限り、納得できる道と一緒に探したいと考えています。子育て中の時短勤務や育休・介護休業の取得を気兼ねなくできるよう、フォローしやすい体制づくりにも取り組んでいます。

また、これまで社員が健康に働ける職場を目指してきましたが、2022年10月に初めて「健康経営優良法人」の申請をしました。さらに健康増進の活動を進める予定です。

[SDGsへの貢献]



### TOPICS 男性の育児休業も快く受け入れる環境へ

2022年5月に長男が生まれ、40日間の育児休業を取得しました。世間的には男性の育児休業は社内でも取りづらい雰囲気だったり、収入が減ってしまうことを懸念したりして、取得する人が少ないと言われています。私は取得したい時期が職場のリニューアルオープンとかぶっていたため上司に相談し、引継ぎ業務や人員調整など迷惑をかけないように準備を行い、結果的にオープンの1か月後という忙しさが続いている時期に休業を取ることができました。上司や売り場スタッフに感謝しています。休業中は何かから何ま

でわからないことはばかりで戸惑いましたが、貴重な乳児期を夫婦で育児に専念でき、充実した日々を過ごせました。改めて妻をねぎらう気持ちも増したと思います。復帰後は周囲の理解があり、感謝の気持ちが心に残っています。今後自分に男性の後輩ができれば、積極的に相談に乗り、自分がしてもらったように育児休業を快く受け入れてあげたいと思います。



販売部飲食チーム22% MARKET  
菓子と喫茶SIROYA 店長  
堀本 浩希



# DIVERSITY

わたしの  
ストーリー

ダイバーシティって、  
なんですか？

みんながいるから  
強くなるってこと。



ISHIYAでは様々な個性をもつ人材がお互いを尊重し、それぞれの能力を生かして活躍できる組織づくり、環境づくりを進めています。

従業員一人ひとりがどのように活躍しているか、個人のキャリアとスタイルに注目し、インタビューを通じて「それぞれのストーリー」を深掘りしてみました。

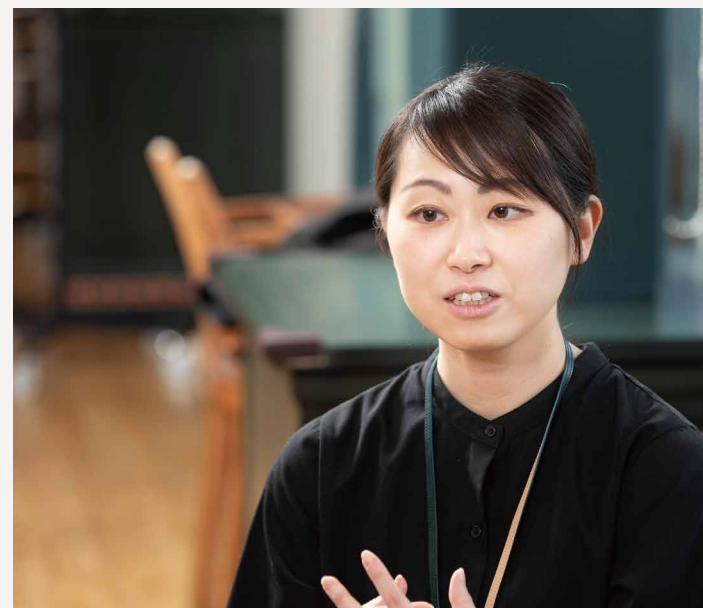
## わたしのダイバーシティストーリー 01

営業部 主任  
かみで ゆか  
上出 侑香 | 受付、広報、営業と部署を横断。  
産休・育休後も子育てと仕事を両立。

### 新しい部署へ異動するたびに 知らなかった世界が広がる

一販売、広報、営業推進などいろいろな部署で活躍する秘訣は？

まずは前向きにやってみること。新しい分野を一から学ぶのは新鮮で楽しいですし、自分に合わないと思ったら「すぐに異動願いを出そう」という気持ちでやってきました。幸いなことに、異動したいと思ったことはありません。2005年の入社当初は白い恋人パークで販売や受付業務を行い、2007年に新設された広報室へ移り、雑誌やテレビなどメディアの取材対応にあたりました。常にどうしたらISHIYAの魅力が伝わるか？を考え、忙しい毎日でしたが充実していたと思います。自分が担当したテレビ番組を観たときは、少し誇らしく感じると同時に「もっとこうすればよかった」と反省もし、次の仕事へのモチベーションになりました。2020年から営業推進部へ移り、現在は催事・物産展チームに所属。全く違う世界ですが、一緒に働くメンバーとお互いの得意分野を教え合いながら業務に取り組んでいます。



## わたしのダイバーシティストーリー 02

ロジスティクス部 購買チーム  
うかい はやて  
鶏飼 颯 | 自らの希望で入社当初から様々な部署を経験。  
興味を持ったら行動を続け、視野を広げる。

### 「やってみたい」という気持ちが すべての出発点

一入社5年目で3回部署を異動していますが、自分から希望したのですか？

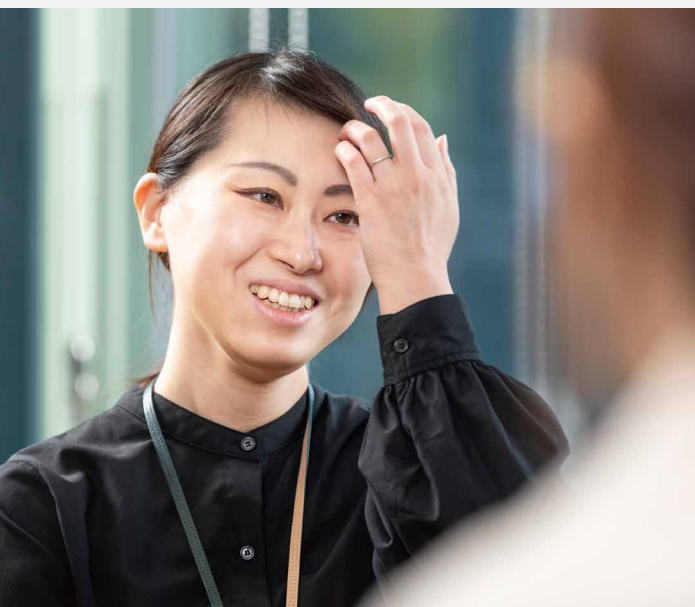
人事部のアンケートや上司との面談で、そのとき興味を持っている部署を伝え、その希望が叶った結果です。入社当初は白い恋人パークの売店に配属となり、販売を経験しました。それから新人研修でいろいろな部署の仕事を知り、「さらに付加価値をつけた販売をしてみたい」と思い、「白い恋人」のオリジナル缶を作成する部署に移りました。ここで約1年半、お客さまとの会話からご要望をくみ取り、提案する楽しさを体験できたと思います。その後、「店舗だけでなく会社全体がわかるような仕事をしてみたい」という気持ちが生まれ、財務部への異動を希望しました。知識がなかったので会社の補助制度を利用し、通信講座で簿記の資格を取った努力も認められたのか、欠員があったタイミングで財務部に移りました。こちらでは約2年半、先輩と一緒に決算資料の作成にもたずさわることができました。そしてまた別の経験をしたと考え、2022年9月から購買チームに所属しています。



### これから出産や子育てをする人へ 「安心してね」と伝えたい

一産休・育休後、職場復帰に不安はありませんでしたか？

4年前に出産し、産休・育休の取得前から100%復帰しようと決めていました。ISHIYAは先輩のお母さん社員が多く、どの部署も子育て中の社員に理解があって、急な発熱などで早退や欠勤をするときも周囲が自然にフォローする風土が醸成されていると感じます。これはISHIYAらしさの一つと言っているかもしれません。私は復帰後しばらく時短勤務で、社内保育施設(白い恋人キッズパーク)も活用し、同じくISHIYA社員の夫と協力しながら子育てと仕事を続けています。これから出産や子育てをする人には、いろいろな不安や事情があると思いますが「安心して復帰してね」と伝えたい。また、そういう話ができる場をつくり、さらに働くお母さん・お父さんに優しい職場になればうれしいです。



### 多様な視点で物事を捉えて より良い考えを導き出せるように

一仕事に慣れるのが大変だと思いますが、それでも異動を希望する理由は？

興味がある新しい分野に挑戦できるのは、自分にとってすごくうれしいことで、モチベーションにもつながっています。また、複数の部署を経験するなかで、「いろいろな視点から物事を考えられるようになりたい」という気持ちが強くなりました。一つの部署から見て都合が良くても、別の部署から見ると都合がある場合があるかもしれません。私の実家は白い恋人パークのすぐ近くにあつて、小さい頃からISHIYAは地域を盛り上げてくれる身近な存在でした。自分もそこで頑張ってみようと思ったのが入社きっかけです。地域や社会を含めたいろいろな立場の人にとって、より良い考えを導き出せるように、これからも経験を積んで視野を広げたいと思っています。



社長室  
広報CSR推進チーム  
SDGs推進チーム  
えんどう まゆこ  
遠藤 麻由子

# 社内探訪

SDGs推進チームの

ISHIYA LEGWORK

ISHIYAのSDGs推進チームが、社内の様々な場面でのようにSDGsへの貢献が行われているかを探ってきました。新しくチャレンジした活動も多く、今後さらなる発展を目指しています。

社長室  
広報CSR推進チーム  
SDGs推進チーム リーダー  
のむら たけみ  
亀村 建臣

多様性のある社会が  
当たり前になるといいですね。



3 ISHIYA LEGWORK

スポーツしながら  
まちを美しく

「環境にやさしいまちづくり」を進めている札幌市西区の区制50周年記念「スポGOMI大会」が2022年9月3日に開催され、ISHIYA社員6名も参加しました。スポGOMI大会はごみ拾いとスポーツを融合したイベントで、まちの環境美化や人のつながりを目的としています。白い恋人パーク周辺の西区エリア内をチームに分かれて巡回し、制限時間内に落ちているごみを拾いました。

みんな楽しそう。  
続く仕組みが嬉しいです。



4 ISHIYA LEGWORK

SDGs推進チームの対話

製造、事務管理、販売など社内の部門を横断して構成したSDGs推進チームは、毎月定期的にミーティングを実施してきました。SDGs的な視点から社内外の課題を見つめ、解決策を模索する活動は4年目を迎え、ますます進化を続けています。ミーティングには社外の識者が参加する機会もあり、外部の意見も積極的に取り入れるようにしています。2022年11月11日はSDGs for school認定エデュケーターの吉田加奈子様を交え、身近な課題や疑問、今後の達成目標などについて様々な話題がくり広げられました。

SDGs for school認定エデュケーター  
吉田 加奈子 様



5 ISHIYA LEGWORK

売上金の一部を子ども食堂へ

社内のビジネスプランコンテストから生まれた新商品「Vegewill(ベジウィル)」をクラウドファンディングで販売し、売上金の一部を「さぼーとほっと基金」に寄付しました。この寄付金は当基金を通じて札幌市内の子ども食堂への支援金として活用されました。

札幌市市民文化局長 本間 芳明 様(右)  
経営管理部 ゼネラルマネージャー 近藤 亜実(左)

社会と繋がる行動が  
やりがいを生みますね。

1 ISHIYA LEGWORK

未来を考える異業種間の交流

100年企業を目指してワーキンググループを結成し、活動されている岐阜車体工業株式会社様(岐阜県各務原市)との意見交流会を2022年10月25日に実施しました。同社は2022年に創業82年を迎えました。創業75年で同様の長期ビジョンを掲げるISHIYAと業界の枠を越え、社員の意識や風土の醸成、社会貢献のあり方などについて語り合いました。

2 ISHIYA LEGWORK

パラスポーツを応援

「北海道スポーツみらい会議」の参画企業として2022年10月22日に開催された「北海道みらい運動会2022～みんなでチャレンジ!パラスポーツ～」に石水社長をはじめ10名の社員が参加。車いすポートボールやリレー、ポッチャなどのパラスポーツを体験。年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるスポーツ競技を通じて多様性のある社会への理解を深めました。



日頃の発信からお声がけ  
いただけ嬉しいです。





# Life cycle assessment LCA

## ライフサイクル アセスメントの 取り組み

2022年1~12月



### 地産地消でCO<sub>2</sub>を削減

物流拠点の見直しを進め、配送時のCO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでいます。また、北海道産の原材料を使用することで、海外から輸入する場合と比べて輸送時のCO<sub>2</sub>排出削減にもつながっています。

### 製造時に使用する電力はCO<sub>2</sub>排出実質ゼロを達成

自社工場で製造時に使用する電力は実質再生可能エネルギーを採用し、CO<sub>2</sub>の排出が実質ゼロを達成しています。北広島工場で2022年7月に、宮の沢工場では2022年9月に切り替えが完了しました。また、ラング・ド・シャの焼成時間の見直しなどを行い、ガス使用時のCO<sub>2</sub>排出の抑制にも取り組んでいます。安心・安全で衛生的なモノづくりに加えて環境への配慮についても努力を続けています。

製品には、資源調達から輸送、製造、消費、廃棄やリサイクルまでといった一生があります。その一生において、環境への影響を定量的に評価する方法がライフサイクルアセスメント(LCA)です。ISHIYAは、それぞれの段階でどのような改善ができるのかを考えながら、ライフサイクル全体での環境負荷の削減とともに、SDGs達成への取り組みを続けます。

[SDGsへの貢献]



### 北海道産の原材料を使用

「白い恋人」に使用している小麦粉、砂糖、生クリームは北海道産100%です。地域の一次産業の持続的な発展に貢献しています。

●主力商品主原料の仕入量(インプット) (単位:t)

	宮の沢工場	北広島工場	合計
小麦粉	153	300	453
油脂類	114	216	330
砂糖	79	352	431
チョコレート	202	151	353
合計	548	1,019	1,567

注)小数点以下四捨五入

●エネルギー使用量(インプット)\*1

	電力	LNG	都市ガス
宮の沢地区	4,549,542kWh	—	688,777m <sup>3</sup>
北広島地区	7,229,757kWh	1,190t	—
合計	11,779,299kWh	1,190t	688,777m <sup>3</sup>

注)小数点以下四捨五入

●CO<sub>2</sub>排出量(アウトプット)\*1 (単位:t-CO<sub>2</sub>)

	電力	LNG	都市ガス	総排出量
宮の沢地区	1,657	—	1,577	3,234
北広島地区	1,355	3,213	—	4,569
合計	3,012	3,213	1,577	7,803

注)小数点以下四捨五入

製品の一生を通じた環境への影響を評価します。

インプット  
天然資源・  
エネルギーなど

アウトプット  
CO<sub>2</sub>・  
廃棄物など

### 家畜の飼料として有効活用

製造時に割れてしまうなど商品にできないものは、食品残渣として家畜の飼料にリサイクルされています。

●廃棄物・リサイクル量(アウトプット)\*1

	廃棄物		リサイクル		
	プラスチック	汚泥	軟質ビニール	雑紙	食品残渣
宮の沢地区	551m <sup>3</sup>	163t	177m <sup>3</sup>	124t	62t
北広島地区	317m <sup>3</sup>	105t	131m <sup>3</sup>	106t	92t
合計	868m <sup>3</sup>	268t	308m <sup>3</sup>	230t	154t

注)小数点以下四捨五入

### プラスチックの排出削減

2022年よりプラスチック廃棄物の削減に取り組む、分別の徹底や原材料納入時の梱包資材をリサイクル可能なものにするための検討を重ねています。



### 手提げ袋の見直しや改善

ISHIYA各店舗では2020年より商品のご購入時にお持ち帰りいただく手提げ袋を、プラスチック製から紙製に変更しています。2022年からは紙袋の一部有料化も行い、限りある資源をお客さまのご理解を得ながら大切に使用する努力を続けています。また、各飲食店舗のテイクアウトなどで使用する容器は共通化を進めることで、資材ロスやコストの削減を行っています。\*2

\*1 算出範囲=宮の沢地区:白い恋人パーク、宮の沢工場、本社事務所棟(宮の沢白い恋人サッカー場除く)、北広島地区:北広島工場 \*2 一部店舗・商品除く



# ISHIYA HISTORY

[ISHIYA ヒストリー]

1947年創業から現在まで、北海道とともに歩んできた歴史をご紹介します。

**1947 昭和22** ◎石水幸安が札幌市(現北区茨戸)にて政府委託のでん粉加工業を創業



創業当時の従業員

**1948 昭和23** ◎ドロップス製造開始  
お菓子はまだ貴重品で、「きなこねじり」や「たんきりあめ」などが飛ぶように売れる

**1957 昭和32** ◎生菓子製造開始  
高度経済成長期に入り、世間はおいしいものを求めるように

**1959 10月 昭和34** 札幌市東区北9条東8丁目にて「石屋製菓株式会社」設立。代表取締役社長石水幸安  
この頃から洋菓子への転換を図る



1959年東区の本社工場

## 1947~

## 1971~

**1971 12月 昭和46** 札幌地下鉄開通を記念してラング・ド・シャ「シェルター」発売  
◎テレビCM第1作「地下鉄開通シェルター」放送開始

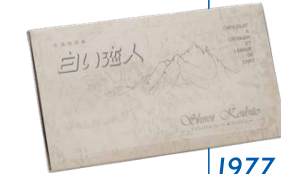
**1976 12月 昭和51** 「白い恋人」発売  
札幌でホワイトチョコレートがブームとなり、手を汚さず食べられるチョコレート菓子として考案

**1977 10月 昭和52** 「白い恋人」が機内食に採用  
◎「白い恋人」テレビCM第1作「雪の中からあの人がかかる」放送開始  
機内食採用をきっかけに爆発的ヒット商品に。全国から引き合いがあるが、北海道限定販売を守り続けISHIYAの原点となる

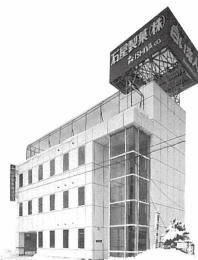
**1979 4月 昭和54** 本社工場を東区に新築移転  
◎売上高10億円突破



シェルター



白い恋人



1979年に新築した本社工場

## 1981~

**1982 5月 昭和57** 札幌市西区宮の沢に第2工場(手稲工場)を増設

**1986 9月 昭和61** 「白い恋人」スイス・モンドセレクションゴールドメダル受賞



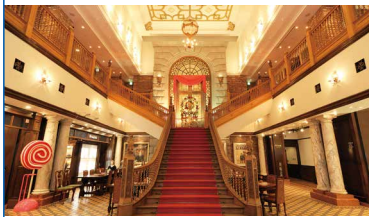
スイス・モンドセレクションゴールドメダル

**1988 11月 昭和63** 「愛すBoy雪だるまくん」発売



愛すBoy雪だるまくん

**2003 9月 平成15** チュダーハウスオープン  
◎「石屋商事株式会社」設立  
◎イシヤ・チョコレートファクトリーの総称を「白い恋人パーク」とする  
◎「白いロールケーキ」発売



チュダーハウス

**2005 2月 平成17** 「美冬(みふゆ)」発売



**2007 8月 平成19** 衛生・品質管理の問題により製造・販売を自粛  
11月 コンプライアンス体制の改善を経て製造・販売を再開

## 2001~

## 1991~

**1992 6月 平成4** 札幌市西区宮の沢に新社屋・工場完成

**1995 6月 平成7** イシヤ・チョコレートファクトリー(現 白い恋人パーク) グランドオープン

**1996 平成8** ◎コンサドーレ札幌(現北海道コンサドーレ札幌)とスポンサー契約締結

**1997 11月 平成9** 「白い恋人チョコレートドリンク」発売

**2000 8月 平成12** 札幌からくり時計塔グランマイスター(現からくり時計塔)完成  
10月 宮の沢白い恋人サッカー場完成



白い恋人チョコレートドリンク



からくり時計塔とサッカー場

**2008 1月 平成20** 白い恋人パーク営業再開  
8月 新ロゴマーク制定  
12月 猫のキャラクターの名前を「ブルミとラムル」に決定

**2009 1月 平成21** 白い恋人パーク 有料入館者300万人達成



300万人目の入場者と島田社長(当時)

**3月** 白い恋人、美冬(みふゆ)、クッキー・クーベルチュールチョコレートの3施設で札幌市食品衛生管理認定制度取得

**8月** 「白い恋人」にバイオマス素材のトレーを採用

**12月** 「白いバウムTSUMUGI(つむぎ)」発売  
新たなヒット商品となる

**2010 3月 平成22** 新本社事務所棟完成



白いバウムTSUMUGI

## 2012~

**2012 1月 平成24** 「白い恋人」原料小麦を100%北海道産に変更  
4月 白い恋人パークキャンディ・ラボオープン

**2013 2月 平成25** 「雪だるまくんチョコレート」発売  
6月 札幌大通西4ビルに直営3店舗 イシヤショップ、イシヤカフェ、キャンディ・ラボオープン  
7月 石水創代表取締役社長就任

**2014 10月 平成26** フィンランド・ロヴァニエミ市と「石屋商事(株)・ロヴァニエミ地域開発(株)業務協力に関する覚書」調印



石屋商事(株)・ロヴァニエミ地域開発(株)業務協力に関する覚書調印式

**2015 3月 平成27** サザエ食品株式会社の道内事業を承継

**2016 6月 平成28** 「プレミアムアイスクリーム」発売  
9月 「北海道クリームシチューあられ」発売

10月 白い恋人パークに礼拝室完成  
12月 白い恋人パークキッズタウン開園

**2020 1月 令和2** 北広島工場(チョコレート菓子及びチョコレートの製造)が食品安全マネジメントシステムFSSC 22000取得

4月 道内新入生に「白い恋人」を寄贈



新入生に「白い恋人」を寄贈。鈴木知事へ目録を渡す石水社長

5月 「白い恋人で北海道にエール! BOX」販売  
売上の一部を「エールを北の医療へ!」に寄付

6月 「白い恋人しあわせBOX」販売  
食品ロス削減のため

8月 「白い恋人」化粧箱をFSC®(森林管理協議会) 認証紙に変更

FSC®認証紙に変更した「白い恋人」



## 2020~

**2017 1月 平成29** 本社管理部門及び宮の沢工場(チョコレート菓子及び洋菓子製造)が食品安全マネジメントシステムFSSC 22000取得  
4月 道外初の直営店 イシヤ銀座オープン  
7月 北広島工場完成  
10月 「北海道パニラの試験栽培に着手」◎石屋製菓(株)創業70周年



北広島工場

**2018 1月 平成30** 「恋するチョコレート」発売  
9月 北海道胆振東部地震発生、白い恋人パーク全営業休止

**2019 4月 平成31・令和元** イシヤ 新宿オープン  
7月 SDGs推進チーム結成  
7月 「イシヤパンケーキストロベリー」発売  
9月 関西初の直営店 イシヤ心斎橋オープン  
9月 道外初のカフェ イシヤ日本橋オープン



**2021 4月 令和3** 道内7店舗目になる直営物販店 イシヤショップアリオ札幌オープン

5月 「ニッポンのおみやげんきプロジェクト」開始

7月 コミュニティFM三角山放送局(株式会社らむれす)との業務提携を開始

9月 石水勲名誉会長 逝去



10月 サザエ食品株式会社 代表取締役社長に石水創が就任

10月 北海道初のイシヤの3ブランドが揃う旗艦店舗 イシヤ札幌大通本店リニューアルオープン

## 2022~

**2022 2月 令和4** 「北海道パニラ」の栽培工程を確立

5月 新経営体制がスタート

6月 札幌大通西4ビルに「22%MARKET」オープン



6月 「白い恋人」発売46周年キャンペーン開始



6月 アラブ首長国連邦(UAE)ドバイ首長国に「ドバイ・モール」店舗をオープン

7月 北広島工場で電力使用によるCO2排出実質ゼロを達成

9月 従業員が心身ともに健康的に働ける企業を目指し「健康経営宣言」

9月 宮の沢工場で電力使用によるCO2排出実質ゼロを達成

11月 イオン札幌桑園ショッピングセンター フードパーク内に「いしや茶寮」オープン

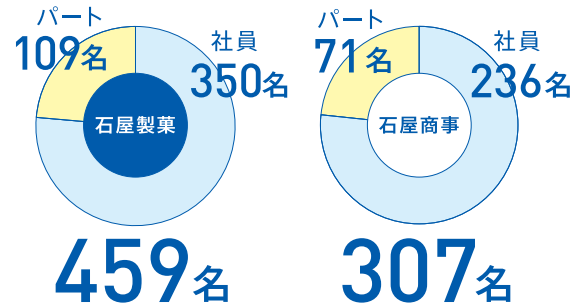


数字を見る  
ISHIYA  
イシヤ

石屋製菓と石屋商事の現在を、  
様々な数字から読み解いてみました。  
どんな姿が見えてくるでしょう。

従業員数

766名



社員の勤続年数

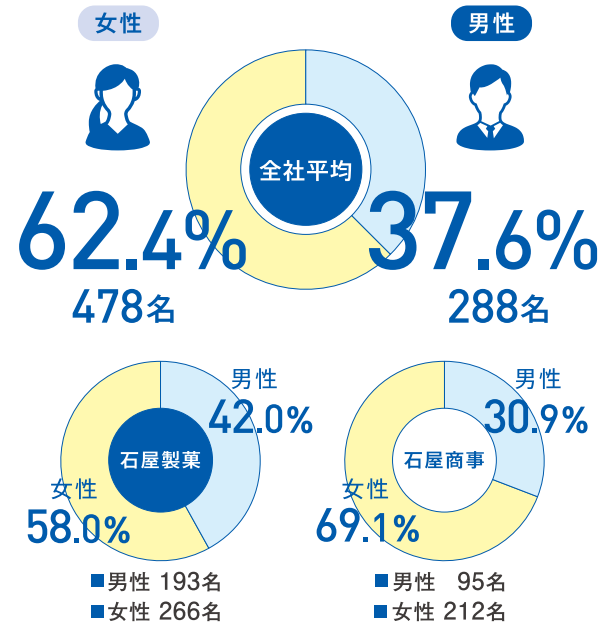


外国人の従業員数



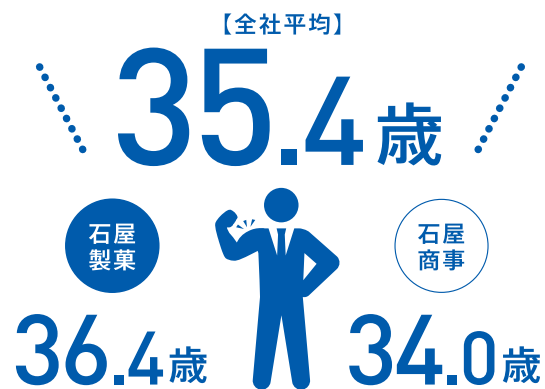
国籍に関係なく様々な人が活躍しています。多様性を大切にすることが企業の成長にもつながっています。

従業員の男女比



女性従業員が多いことがISHIYAの特徴の一つ。各部署で男性・女性の区別なく能力を発揮しています。

社員の平均年齢

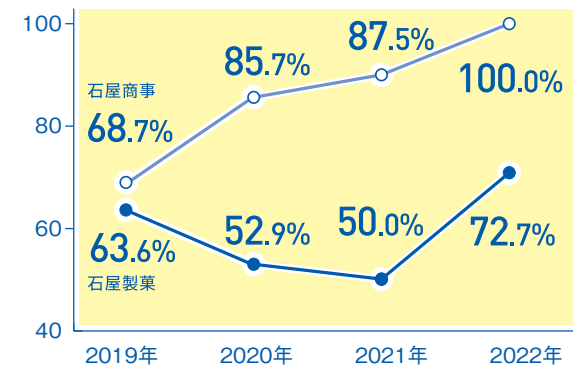


平均年齢が30代半ばと若いこともISHIYAの特徴です。若手・中堅・ベテランがそれぞれの立場で活躍しています。

資本金



育児休業取得率

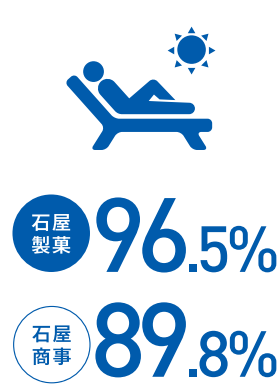


年によって差がありますが、女性の育児休業の取得は社内で定着し、男性の取得も増えています。

道内直営店



有給休暇取得率



有給休暇取得率は年々増加し8~9割に達していますが、10割を目指して取り組みを行っています。

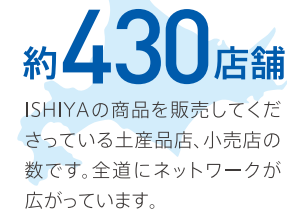
道外直営店



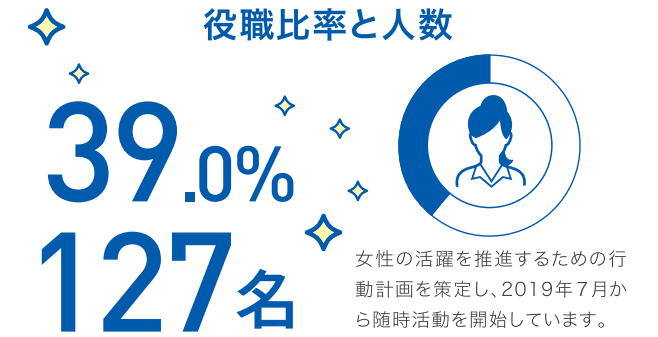
全国免税店



道内特約店



女性社員の役職比率と人数



安心・安全の取り組み認証数



「白い恋人」の道産小麦粉、砂糖、生クリーム使用率



関係会社

- 株式会社ISHIYAホールディングス
- サザエ食品株式会社
- 十勝製館株式会社
- 株式会社北海道150年ファーム等





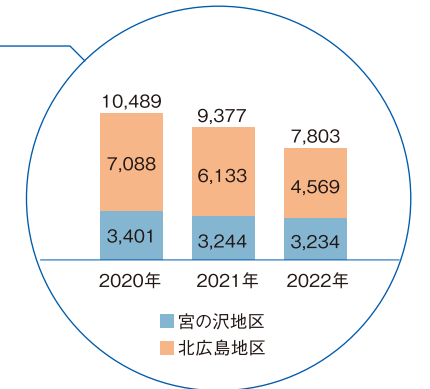
# SDGs 取組表

2030年のあるべき姿、ゴールに向けて  
6つの約束それぞれに具体的な目標を定め  
着実な取り組みを積み重ねています。



6つの約束		2030年のあるべき姿	2022年度の取り組み内容	SDGsへの貢献
約束 1 Promise	<b>安心・安全</b> 商品製造すべての工程で 安心・安全を推進する	すべてにおいてグローバル スタンダードのスキームに 基づく菓子づくりをする	●宮の沢・北広島工場で改善提案報告会がスタート(P.08)	8,9,12
			●お客さまのご要望に応え、商品の改良に取り組む	3,12
			●手順書の見直しによる食品の安心・安全の確保を常時実施	3,12
			●「FSSC 22000」認証取得の継続	12
約束 2 Promise	<b>コンプライアンス</b> 法律や倫理を遵守する コンプライアンス体制を確立	バリューチェーン全般において コンプライアンスを遵守した 事業活動が実行されている	●コンプライアンス研修(100%受講)	4,5,8,16
			●産後パパ育休の推進(P.10)	3,5,8
約束 3 Promise	<b>環境</b> 環境負荷を軽減する取り組みで 持続可能な製品づくり	CO <sub>2</sub> の排出抑制と廃棄物のリサイクルが 徹底され、すべての事業活動が 環境に配慮されている	●北広島工場(7月)実質再生可能エネルギーを導入しCO <sub>2</sub> 排出量を削減	7,13
			●宮の沢工場(9月)実質再生可能エネルギーを導入しCO <sub>2</sub> 排出量を削減	7,13
			●工場廃棄物のリサイクル推進	12,14
			●機器の運転時間の見直しによるエネルギー消費の抑制	7,13
			●汚泥の総量を減らす工夫により廃棄物の削減	12,15
			●カフェで使用する資材の共通化でプラスチック廃棄物削減	12,14
約束 4 Promise	<b>スポーツ振興</b> スポーツを通じて子どもたちに 夢や希望を与える	すべての取り組みが北海道を軸とした グローバルかつ持続可能な 経済活動が実現できている	●北海道コンサドレ札幌「SWEETS MATCH 2022 in HOKKAIDO」開催	11,17
			●三角山放送局でコンサドレ三上大勝GM出演「GreatVictory」スタート	11,17
			●北海道コンサドレ札幌バドミントンチーム、初のホーム戦で勝利(札幌)	11,17
			●「北海道コンサドレ札幌」のメインスポンサーを継続	10,11,16,17
			●「北海道コンサドレ札幌カーリングチーム」の支援を継続	10,11,16,17
			●「北海道コンサドレ札幌バドミントンチーム」の支援を継続	10,11,16,17
約束 5 Promise	<b>地域社会</b> 北海道・地域社会に 様々な形で貢献する	すべての取り組みが北海道を軸とした グローバルかつ持続可能な 経済活動が実現できている	●医療従事者への敬意を込め白い恋人パークでブルーライト点灯	3,11,16,17
			●道内外の企業間コラボによる商品の開発・販売	8,17
			●新規事業の積極的な展開(22%MARKET、いしや茶寮、ドバイモール)	8
			●三角山放送局でSDGs推進番組「ISHIYAプラス」スタート	11,17
			●北広島工場でのゴミ拾い活動の継続	11
			●白い恋人パークでSDGsコースの継続	4,16,17
			●白い恋人パークdeマルシェ開催(地元のお客さまとの交流)	11,17
			●白い恋人パークが北星学園女子中学校とメニュー開発	4,11,17
			●白い恋人パークオンラインツアー(全ての人が楽しめるテーマパークへ)	4,16,17
約束 6 Promise	<b>雇用・労働環境</b> 誰もが安心して 働ける職場にする	すべての業務において、精神的・ 物理的な安全が保障されている	●健康経営宣言(9月)	3,8
			●人事制度を改定しマネージャー職とエキスパート職を新設	8
			●テレワークの推進	7,8,13

CO<sub>2</sub>排出量の推移(t)



<算出範囲>

宮の沢地区:白い恋人パーク、宮の沢工場、本社事務所棟(宮の沢白い恋人サッカー場を除く)

北広島地区:北広島工場

行動制限の緩和などで観光需要が回復し生産量は増加しましたが、宮の沢・北広島工場の電力を実質再生可能エネルギーに転換したためCO<sub>2</sub>排出量は減少しています。今後もCO<sub>2</sub>排出量を抑えながら生産量も拡大し、北海道経済に貢献しながら環境負荷低減に努めてまいります。